指定管理導入施設実績評価シート(平成29年度)

施設所管課 未来まちづくり 部 公園緑地 課 施設名 213都市公園 指定管理者公益財団法人大津市公園緑地協会 指定期間 平成 26年 4月 1日~平成 31年 3月 31日 指定管理料 年額 558, 349, 600円(平成29年度) (総額2, 757, 569, 000 円) 公園・運動施設の適切な管理運営を行い、公園においては、快適な都市景観の形成、市民に親しまれる憩いの場の提供、運動施設 **設置目的** においては、スポーツ振興、レクリエーション利用の促進など、市民に信頼され、安心・安全に利用できる施設を提供するとともに、維 持管理コストの軽減を図り、効率的な管理運営を目的とする。 ・公園を利用に供する業務 業務内容 ・有料公園施設の使用(その目的以外の使用を除く。)の許可に関する業務 ・公園施設の維持管理に関する業務 使用料収入<mark>目標</mark> 182,200,000 円 213,470,000 円 実績 稼働率 目標 % \Rightarrow 実績 % 利用者数 目標 806,195 人 実績 744,273 人 主な成果 \Rightarrow (自主事業含む) 【主な自主事業実施による成果】 市民ニーズにあった事業の取り入れ(サップヨガ教室、ノルディックウォーキング、皇子が丘体育館の文化教室など)

	I ~Ⅳに よる総合	総合評価コメント			
彩	評価	各項目とも、おおむね協定書に沿った業務が行われており、公益財団法人としての社会貢献活動、市民の健康増進に向 けた活動も積極的に実施されている。			

評価項目及び評価の視点	確認資料 自己評価 自己評価事由		所管課評価 所管課確認事項		
□ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営 に努めていたか。	事業計画書、 事業報告書	B (良好)	仕様書業務を確実に行うととも に、事業計画に基づき、市民 ファーストの管理運営に努めた。	B (良好)	市民からのリクエストを適正 に取り扱い、公園の維持管 理に努めている。
□ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、 日報、勤務 表、資格証、 実地調査		職員の適材適所を考慮し 適正・適切な配置を行うと ともに、職員の健康管理な どに努めた。	B (良好)	職員の配置は事業計画 書通り行われている。ま た、健康診断も適切に行 われている。
□ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施で	事業計画書、 事業報告書、 研修資料等	B (良好)	各課、各施設においてスケ ジュール調整の上、適時 実施した。	B (良好)	計画通り実施されてい る。
Ⅰ □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係 書類等、実地 調査	B (良好)	周知徹底を図り、コンプラ イアンスに努めた。	B (良好)	ファイハンー マーフの取得 にあたり、必要な規則など についての周知を行ってい た
心 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づ	協定書、管理 方法(実地調 査)	B (良好)	規程に基づき、適正・適切 に管理を行った。		外部の審査機関とのやり取りを 行い、職員への周知を徹底し、 プライバシーマークを取得した。
管埋記録	日報、点検結 果等関係書 類、実地調査	B (良好)	関係職員に回覧の上適正 に保管した。		問題なく記録・保管が行 われている。
	事業計画書、 事業報告書等 関係書類	B (良好)	報告書等の提出・内容等 は適正・適切に行った。	C (課題含)	日常管理業務の報告については迅速かつ 適切に報告が行われていたが、定例の報 告書関係については一部遅延や報告のミ スがあった。
□事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。	事業計画書、 事業報告書、 緊急時対応マ ニュアル	B (良好)	日々の事故対応、警戒1 号、2号体制とも適切に行 い、定期的な訓練も行っ た。	B (良好)	各都市公園で起きた倒木な どの被害に対して、迅速な 対応が行われた。
《 I 総 括》 業務の実施体制に関する評価 [標準8項目/当	B (良好) B (良好)		B (良好)		

指定管理導入施設実績評価シート(平成29年度)

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
Ⅱ内容・水準	施設管理□ 開館日、開館時間を遵守していたか。□ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	B (良好)	開館等は条例を遵守。事 故防止等は看板、貼り紙 等で周知。	B (良好)	問題なく行われている。
	利用状況□ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、 事業報告書	B (良好)	前年度比較で利用件数、 利用者数も増大	B (良好)	施設の利用料金売上は前年比 105%となっている。空き時間の 利用を促進し、更に稼働率を上 げる狙いがある。
	利用者対応□ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。□ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。□ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュア ル、意見付簿、 アンケート 実地調査	B (良好)	運動施設では、抽選会を含め利用者と相互確認しながら実施。公園では行為許可等利用者に理解を得た対応。備品等の貸出しは事前調整をしながら実施	B (良好)	適切な対応が行われて いる。
	事業運営 □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、 事業報告書、 自主事業計画 書、実地調査	B (良好)	仕様書等に従い事業の実施。自主事業は新規事業を取り入れながら市民ニーズに応えた。「健康増進検証委員会」で今後に繋がる事業内容を精査	B (良好)	仕様書通りの運営がなさ れている。
	 維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。 	仕様書、備品 台帳、点検結 果、委託契約 書、実地調査	B (良好)	電気保安・消防設備は法令に準じ実施。機械設備・遊具等で修繕が必要な時は直営及び業者発注において迅速な対応。日常では施設・公園パトロールを実施植栽、樹木等は状況を把握した維持管理を実施	B (良好)	大津市からの依頼や市 民からのリクエストにつ いて迅速な対応が行わ れている。また、施設の パトロールなども問題な く行われている。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレッ ト・ホーム ページ等、実 地調査	B (良好)	ホームページで施設の空き状況の提供、イベント等では事業内容の掲載。協会季刊誌「湖都大津みどり」の発刊	B (良好)	従来の情報提供に加えてダブレットの台数を増やし、施設ごとにSNSなどの更新を行っていく予定。
	環境配慮 「省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実 地調査	B (良好)	ナラ枯れ対策での地元自治会等 と協働作業。KES環境マネジメン トシステム、グリーンカーテン等に よる環境負荷の低減	B (良好)	地元との協働作業を行うな ど、積極的な活動を行って いる。
	意見・要望・苦情□ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。□ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、 事業報告書、 日報、アン ケート	B (良好)	苦情等はリクエストー覧表に記載し毎朝ミーティングで共通認識。対応は直営、業者発注等区分けし、迅速に実施	B (良好)	リクエスト一覧表について は月次で大津市に共有。大 津市からの依頼についても 問題なく迅速に対応が行れ れている。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、 アンケート、 実地調査	A (優良)	イベント等でアンケートを実施し、 ホームページに掲載今後の参考 とする。運動施設関係では「健康 増進検証委員会」で検証した結果 を今後に反映していく。	B (良好)	アンケートの集計を項目ごとに 分析し、外部委員を含めた委員 会で課題の抽出を行っている。 30年度は、その課題に対する7 クションが求められる。
	《Ⅱ総 括》 業務の内容・水準に関する評価 【標準9項目/	/当施設 項目】		B (良好)		B (良好)
皿収支等	経理事務□ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。□ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。□ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、別用申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	売上の現金は翌日金融機 関に入金。パソコン処理で 毎月試算表を作成。料金、 減免等は条例に準じて徴 収	B (良好)	指定管理料の見える化についての課題があるが、おおむね問題なく行われている。
	収支状況□ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入─支出はプラスとなっているか。□ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、 事業報告書	B (良好)	予算、決算に大幅な差異はない が予期せぬ経費等が必要となる。 収入においては前年度より増額と なった。	B (良好)	収入支出ともに前年比を上回っており、収入は施設の利用料金などの微増によるもの、支出は事業が増えたためのものである。
	経費節減の取組□ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。□ 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業 計画書、委託 契約書、実地 調査	B (良好)	直営作業、発芽室での花苗の育成等経費削減に努めた。KESでの取組みによる節電等の実施。 入札により適正な仕様書を作成し 実施	B (良好)	KESの取り組みとして経 費削減の努力を行って いる。
	《皿総 括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目/当			B (良好)		B (良好)
Ⅳその	その他 □ 努力事項として掲げた○○○○の取り組みを推進したか。	実地調査				
他	《Ⅳ総 括》 その他に関する評価【当施設 項目】			B (良好)		

【指定管理者】

安全・安心なまちづくりを目指した管理運営をおこなった。樹木の状況把握、遊具の点検等パトロールの強化を実施した。運動施設ではスポーツ 競技の促進やレクリェーション等の健康増進の振興を図った。公益目的事業を積極的に実施するため、その財源となる収益事業の確保に努め た

特記事項等 (課題·成果)

【施設所管課】

日々の市民リクエストに対する対応について、指定管理者として迅速に対応を行うことができている。また、アンケートを活用して客観的な現状 把握を行い、課題を抽出するなど、先を見据えた運営への姿勢が垣間見える。一方で、各種報告については再度、電子化を行うよう指摘した。 以降、円滑にデータのやり取りができるように体制を整える必要がある。

/※評価基準:項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A~D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順 指定管理者自己評価

提出

所管課評価

通知、

指定管理者

送付

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)